(別記様式1)

令和5年度 社会福祉連携推進法人ジョイント&リップル 業務評価

1 評議会開催日 令和7年4月15日

2 評価項目

(1) 社会福祉連携推進方針に照らした個々の業務の実施状況・費用対効果について

地域福祉支援業務	<p>各社員法人における公益的な取組み及び、連携推進法人として取り組んだ公益的な取組について情報収集及び整理が行われた。</p> <p>令和5年度に続き、生計困難者レスキュー事業では、支援品を法人間で協働して提供することで、支援の質の向上が実感されています。</p> <p>令和6年度には、Yuru カフェを現代美術館にて開催し、300名以上の方が来店されました。これは共生社会の実現に向けた取組みとして、高く評価されるものと感じています。さらにその場では、障がい者アートをデザインしたシャツ・傘・ストールを展示し、インクルーシブな空間演出がなされました。これらの取組みは、新たな事業展開への第一歩として大きな可能性を感じています。</p>
災害時支援業務	<p>BCP策定、福祉避難所立上げゲーム(SgSE)、大規模災害訓練の実施について、聞き取りを行った。</p> <p>2024年4月から義務化されたBCPの策定は社員法人全てでしっかりとしたものが整っています。BCPの中で課題となるのが訓練ですが、社員法人が協働して開催した大規模災害訓練in和水町では、行政、社協、地域住民と事業所が連携して取り組んだ内容としては、全国でも例に見ない活動ができたのではないのでしょうか。</p> <p>福祉避難所立上げゲーム(SgSE)は、昨年度は福岡、山口、青森、埼玉、徳島等、全国から依頼があり実施をされています。新聞やテレビでも取り上げられ、知的財産として本の出版なども検討されてはどうか。</p>
経営支援業務	<p>定期的で開催されている作業部会において、特に処遇改善加算取得に向けたお互いの情報共有や合同研修などの取組みは経営上非常に大切なことだと感じています。日頃から取り組まれていることを加算に反映しきれていない事業所も多くみられる中で、より効果的に利用者ケアの質を上げながら経営に反映することで、職員の確保にもつながると感じています。</p> <p>また、高齢者施設とB型事業所の協働モデル事業については、更に発展的にシーツ交換からクーラーの洗浄にまで至っています。人材確保の部分と重なる部分がありますが、お互いが協働し合うことで、経営支援につながると感じています。</p>
貸付業務	
人材確保等業務	<p>令和6年度は感染症対策、災害について合同研修や講師の相互共有などをされています。お互いが新たな知見を共有し合うことで、質の向上につながると思います。福祉・医療のお仕事体験会～オープンケアキッズ～では、小学生を対象として様々な福祉・医療の職種を体験できるという、現代のニーズに沿った発想で毎年開催していくことで、将来の福祉人材の発掘に繋がることかと感じています。</p>
物資等供給業務	<p>施設の協働利用や物品を相互に利用し合うことを積極的にされています。</p>

(2) 事業報告書の内容について

異議なし